

とよさか

「未来を切り拓く子どもの育成」
～夢に向かって進む八田の子～
八田ブロック共通【めざす児童像】

- ・自ら学び、自ら考え行動する子ども
- ・自分を大切にし、人を大切にする子ども
- ・健康で、たくましく生きる子ども

令和2年11月16日（月）発行

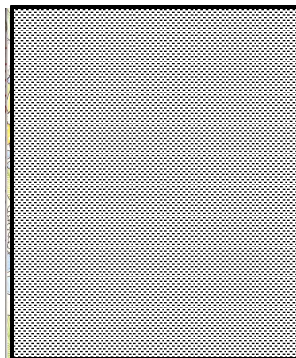
なかよし旬間（11/16～12/4）の取組

本校では11月16日（月）～12月4日（金）の期間を「なかよし旬間」として、人権に関わる身近な問題について考えたり、互いの個性や価値観の違いを認めながら自己・他者を尊重する態度を育成したりすることをねらいとし、この間様々な取組を行います。

- 人権標語の掲示…学習や取組を通して学んだことや気づきを標語としてまとめる。
- 人権目標の掲示…学級全体で人権に関する目標を立て、取り組む。
- ナイスプレー☆クリスマスツリーの掲示…学級やなかよし班の友だちのナイスプレー（いいところ）や自分のいいところをカードに書く。
- なかよし班遊び、なかよし班掃除…異学年のなかよし班で一緒に遊んだり、一緒に掃除をしたり、活動を通して友だちのいいところを見つける。
- 人権学習の授業公開…11月28日（土）の参観日に人権学習の授業を公開する。その後、学級懇談会を行い、保護者の皆様と授業の感想交流や人権をテーマに協議を行う。

人権旬間、最終日の12月4日（金）には、取組の集大成として「なかよし集会」を行い、この間各学級で目標を持って取り組んできた「自分や友だちを大切にする取組」の成果について学年ごとに発表します。このなかよし旬間で高めた態度や実践意欲をその後の学校生活でも大切にしていきます。

なかよし旬間に向けた子どもたちへの種まきとして、11月2日（月）の学校朝会では、子どもたちに「ええところ」という絵本を紹介しました。



あらすじ

小学1年生のあいちゃんは自分に「ええところ」がないと悩んでいます。ある日、学校の帰り道で友だちのともちゃんに聞いてみました。「わたしのええところ教えて!」。ともちゃんは「えーっとなあ」と悩んだ末に、明日までに考えてくると言って帰ってしまいます。次の日の朝ともちゃんが、「あったよ! あいちゃんのええところ。」と駆け寄ってきてあいちゃんの手を握ります。「あいちゃんの手、ものすごくあったかい」。クラスのみんなが集まってきて順番に握手。ある日、掃除の後、あいちゃんはバケツの水で冷たくなった友だちの手を一人一人あたためてあげます。しかし、みんなの手をあたためてあげたせいで、あいちゃんの手は冷たくなってしまいました。「あたしのええところがなくなってしまった...」。そんなあいちゃんにともちゃんは「わたし、あいちゃんのもっとええところみつけたよ。みんなにやさしいのが、あいちゃんの一番ええところやおもうわ。」と言いました。そしてあいちゃんは思います。「やさしいのはともちゃんや。わたしもともちゃんみたいに、ほかの子のええところをみつけてあげるねん。」

このお話を通して、子どもたちには、友だちのいいところを考え、一生懸命見つけようとするともちゃんの素敵な姿や、自分のいいところを友だちに分けてあげる主人公（わたし）の素敵な姿を感じてほしいと思っています。

本校の掲げる目指す子ども像の1つ「自分を大切にし、人を大切にする子ども」の育成を目指して、このなかよし旬間を一つの機会としながら、今後も学校全体で取り組んでいきます。

校長 小嶋 康弘